

市町村でがん対策を担当される皆様へ

医療用ウィッグ購入費への補助、はじめませんか？

県では、がん患者の皆様が、治療により生じた脱毛などの容姿変化をカバーし、安心して療養生活や、治療と仕事の両立などの社会参加に取り組むための一助となるよう、令和2年度から「医療用ウィッグ」購入費用への補助制度を実施しています。

この補助は、がん患者に購入費補助を行う「市町村」が対象です。

がんの治療には、さまざまな費用がかかります。ぜひ、皆様の市町村でも補助制度を立ち上げ、がん患者への支援に御協力いただきますよう、よろしくお願いします。

1 制度のあらまし

市町村が、がん患者の方に医療用ウィッグ（全頭用）の購入費用を補助する場合、県が補助額の2分の1を補助（上限：1件当たり1万円）

補助の一般的な流れ

- ①がん治療を受けた（受けている）方が、ウィッグを購入後、関係書類を添えて市町村に補助金を申請（※一人1台限り）
- ②市町村は、ウィッグ購入費の2分の1以上をがん患者に補助（※県補助対象額：1件当たり、2万円又は購入費の2分の1の額のいずれか低い額）
- ③県は、市町村からの申請に基づき、県補助対象額の2分の1を補助（※県補助額上限：1件当たり1万円）



2 市町村の方へのお願い

この補助は、補助制度がある市町村が対象です（県が、がん患者に直接補助を行うものではありません）。お住まいの方がこの補助を受けるには、市町村が補助制度を立ち上げ、県に補助を申請する必要があります。

まずは、補助制度の立上げについて、ぜひ御検討ください。

（県内では北上市、花巻市、一関市が実施中。秋田県や山形県では、全市町村で補助を実施）

県では、定期的に市町村に対し、制度実施の意向や実施予定時期、見込件数等について調査を行っています。検討に当たり、**御不明な点があればいつでも下記まで御相談ください。**

問合せ先：医療政策室 地域医療推進担当（019-629-5416）



3 制度に関する Q&A

1 年間に、どの程度の補助件数が見込まれますか？

全市町村で実施中の秋田県、山形県の場合、全県で年間 400 件前後（概ね人口の約 0.04%）の補助実績があるとのこと。また、北上市では年間 40～50 件の実績があります。

この結果を本県に当てはめると、年間に盛岡市が 120～150 件前後、その他の市が 20～40 件前後、町村部は 10 件弱くらいと見込まれます。

2 県補助対象の上限額、補助率などについて、設定の考え方を教えてください。

医療用ウィッグの標準的な購入価格として、補助実績の多い 4 万円台を想定し、その 1/2 を市町村が補助する場合（上限 2 万円）、うち 1/2（上限 1 万円）を県が負担するとの考え方で設定しています。

なお、対象経費はウィッグ本体分（税込）のみを対象とし、交通費、送料、手数料、付属品やケア用品などの諸費用は県補助の対象外です。また、1 人につきウィッグ 1 台限りとします。

例 1（5 万円のウィッグの場合）

県	市町村	申請者
10,000円	10,000円	30,000円

例 2（市町村がかさ上げ補助を行う場合）

県	市町村	申請者
10,000円	20,000円	20,000円

例 3（3 万円のウィッグの場合）

県	市町村	申請者
7,000円	7,000円	16,000円

※千円未満切捨て

3 補助額や補助率を独自にかさ上げしようと思います。どこまで県補助対象ですか？

市町村の自主財源により、独自に患者への補助額や補助率を上げて差支えありません。

ただし、1 件当たりの県補助対象額は、「2 万円又は購入経費の 1/2 のいずれか低い額」とし、県はその 1/2 を補助しますので、かさ上げ分は県補助の対象外です。

4 申請者からは、どのような書類を求めればよいのでしょうか？

申請様式については、既に補助制度を有する市もあるため、市町村の実情に応じて定めていただいて差支えありません（他県の事例について情報提供も可能です）。

また、添付書類については、客観的にがん治療や医療用ウィッグ購入の状況が確認できるもの（次のような書類の写し）を適宜求めてください（※この申請のためだけに、診断書原本を求める必要はありません）。

- (1) がん治療を受けていることを証明できる書類
(例：治療に関する説明書、診断書、治療方針計画書、診療明細書の写し等)
- (2) 購入した品名及び金額が証明できる書類
(例：対象となるウィッグの領収書、クレジットカードの引落とし明細等)

なお、補助金の重複申請がないよう、台帳を整備するのが望ましいです。

